

公 示 用

令 和 4 年 度

設 計 書

役務名 豊平川水再生プラザほか3施設構内除雪業務

令 和 4 年 9 月

【業務委託設計書作成基準の公表について】

- (1) 業務委託費の積算の透明性・妥当性を図ることを目的として、本市の業務委託設計書作成基準を一部、公表しています。
- (2) 公表は、下水道庁舎1階の閲覧コーナーにある閲覧用パソコン(2台設置)で行っています。
- (3) 提供時間は開庁日の午前9時から午後5時までです。(12時15分から13時00分を除く。)
- (4) 閲覧に当たっては、備付けの情報提供設計書閲覧・複写届に必要な事項を記入し、窓口へ提出してください。
- (5) データの閲覧又は、CD-Rへの複写が可能です。CD-Rは持参してください。

【業務委託設計書作成基準を公表しているのは、下表の業務である。】

業務項目	対象施設、設備等
運転管理業務	拓北T、伏古川T、東部T、定山溪T、厚別T 西部SC焼却、西部SC脱水、東部SC、手稲沈砂洗浄C、厚別洗浄C
融雪施設運転管理業務	創成川融雪管、厚別融雪槽
維持管理	埋設圧送管、MP施設等
汚泥等運搬業務	沈砂等、定山溪プラザ濃縮汚泥、東部SC等脱水汚泥
焼却灰運搬業務	西部SC
クレーン性能検査整備	
電気設備点検	特別高圧、高圧電気、計装、高圧電動機等、シーケンサ等、直流電源
エレベータ点検	
消防設備点検	
庭園管理	
構内除雪	

札幌市下水道河川局事業推進部
創成川水処理センター

(以下余白)

役務名 豊平川水再生プラザほか3施設構内除雪業務

業務委託費 _____ 円

一金	業務価格単価	除雪A	円/回	
	業務価格単価	除雪B	円/回	
	業務価格単価	除雪C	円/回	
	業務価格単価	除雪D	円/回	
	業務価格単価	排雪A	円/台	
	業務価格単価	排雪B	円/台	
	業務価格単価	排雪C	円/台	
	業務価格単価	排雪D	円/台	
	業務価格単価	排雪E	円/台	
			(業務予定数量)	(標準作業時間)
	業務量	除雪A	19回	390分/回
			(昼間:120分/回、夜間:125分/回、場内運搬145分/回)	
	業務量	除雪B	5回	50分/回
	業務量	除雪C	11回	50分/回
	業務量	除雪D	5回	45分/回
	業務量	排雪A	1台	-
	業務量	排雪B	1台	-
	業務量	排雪C	1台	-
	業務量	排雪D	1台	-
	業務量	排雪E	145台	-
内訳	業務価格		_____ 円	
	消費税等相当額		_____ 円	

業務説明

1.業務の概要

- 除雪：構内の除雪を行い、指定場所に雪を堆積する。

除雪A 対象施設：豊平川水再生プラザ

除雪B 対象施設：豊平川中継ポンプ場

除雪C 対象施設：米里中継ポンプ場

除雪D 対象施設：月寒川雨水ポンプ場

- 排雪：構内に堆積した雪を最寄りの融雪施設等に運搬排雪する。

排雪A 排雪先：伏古川融雪管

排雪B 排雪先：伏古川融雪管（夜間）

排雪C 排雪先：厚別融雪槽

排雪D 排雪先：厚別融雪槽（夜間）

排雪E 排雪先：市内堆積場

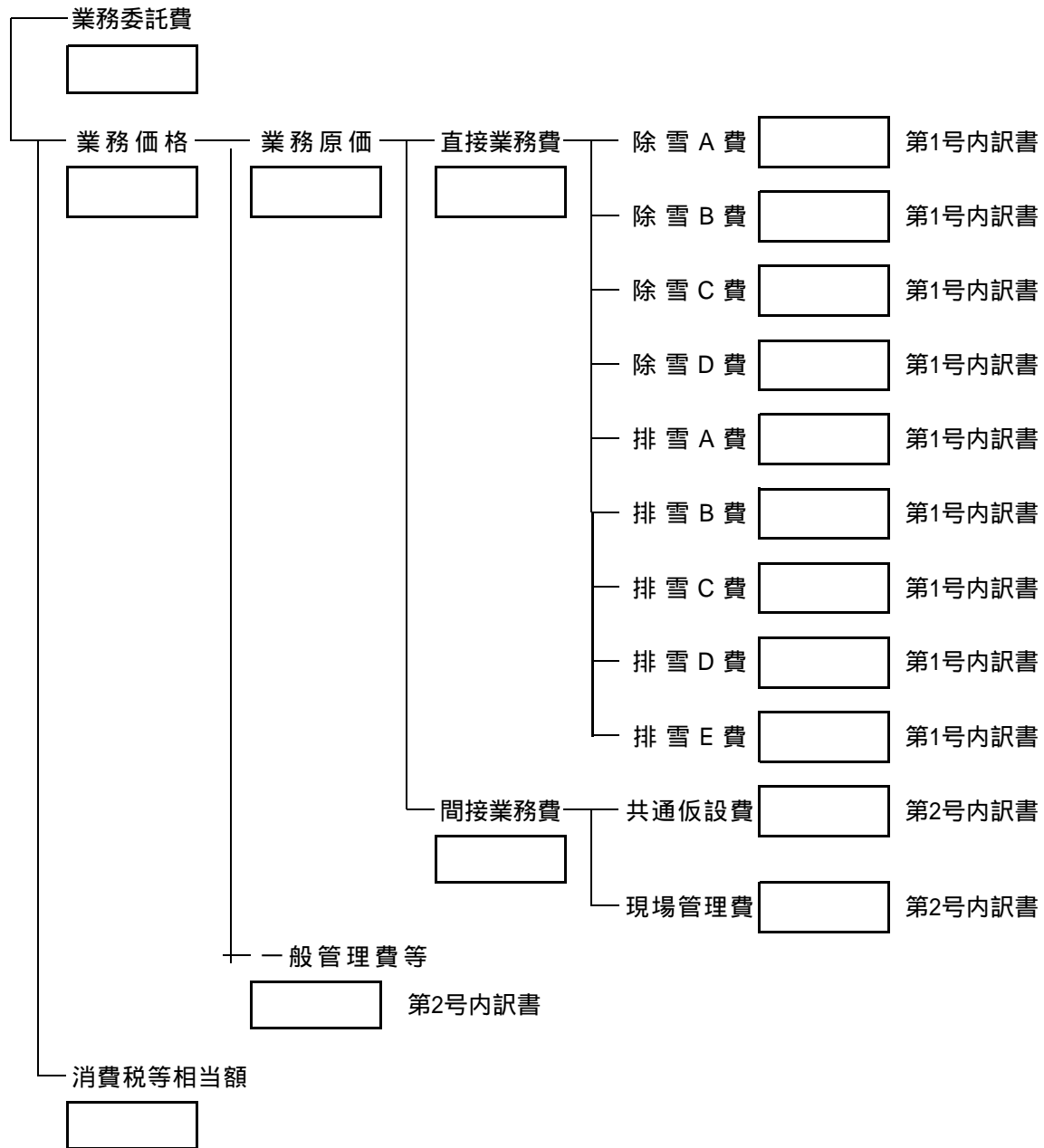
2.履行期間 契約締結日から、令和5年3月31日までとする。

3.仕様書 共通仕様書による。

業務委託費総括表

(役務名) 豊平川水再生プラザほか3施設構内除雪業務

(一金) 円



業務価格単価算出式	業務予定量	業務価格単価	設計係数
除雪A業務価格単価 = 業務価格 × 除雪A費 ÷ 直接業務費 ÷ 業務予定量	19 回		
除雪B業務価格単価 = 業務価格 × 除雪B費 ÷ 直接業務費 ÷ 業務予定量	5 回		
除雪C業務価格単価 = 業務価格 × 除雪C費 ÷ 直接業務費 ÷ 業務予定量	11 回		
除雪D業務価格単価 = 業務価格 × 除雪D費 ÷ 直接業務費 ÷ 業務予定量	5 回		
排雪A業務価格単価 = 業務価格 × 排雪A費 ÷ 直接業務費 ÷ 業務予定量	1 台		
排雪B業務価格単価 = 業務価格 × 排雪B費 ÷ 直接業務費 ÷ 業務予定量	1 台		
排雪C業務価格単価 = 業務価格 × 排雪C費 ÷ 直接業務費 ÷ 業務予定量	1 台		
排雪D業務価格単価 = 業務価格 × 排雪D費 ÷ 直接業務費 ÷ 業務予定量	1 台		
排雪E業務価格単価 = 業務価格 × 排雪E費 ÷ 直接業務費 ÷ 業務予定量	145 台		

第 1 号 直接業務費内訳書

—金 _____ 円

豊平川水再生プラザほか3施設構内除雪業務

名 称	形 質	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
除 雪 A	タイヤショベル 2.1m ³ 可変ブラウ	回	19	(1回当たり)		
(運搬)	10tダンプトラック タイヤショベル 2.1m ³ 標準バケツ					
除 雪 B	タイヤショベル 2.1m ³ 可変ブラウ	回	5	(1回当たり)		
除 雪 C	タイヤショベル 2.1m ³ 可変ブラウ	回	11	(1回当たり)		
除 雪 D	タイヤショベル 2.1m ³ 可変ブラウ	回	5	(1回当たり)		
排 雪 A (片道 2.5km)	10tダンプトラック 2.1m ³ 標準バケツ	台	1	(1台当たり)		
排雪B(夜間) (片道 2.5km)	10tダンプトラック 2.1m ³ 標準バケツ	台	1	(1台当たり)		
排 雪 C (片道 5.2km)	10tダンプトラック 2.1m ³ 標準バケツ	台	1	(1台当たり)		
排雪D(夜間) (片道 5.2km)	10tダンプトラック 2.1m ³ 標準バケツ	台	1	(1台当たり)		
排 雪 E (片道 10.5km)	10tダンプトラック 2.1m ³ 標準バケツ	台	145	(1台当たり)		
計						

(委託設計書 様式4-1)

第 2 号 諸 経 費 内 訳 書

豊平川水再生プラザほか3施設構内除雪業務

名 称	積 算 計 算	金 額
共通仮設費	$\text{道路維持} \% \times \text{補正係数 } 0.38 = \text{共通仮設費率} \%$	
	$\text{共通仮設費} = \text{直接業務費} \times \text{共通仮設費率}$	円
	経費率は、R04土木工事積算基準(国交省)による。 共通仮設費は24項目中9項目適用のため、補正係数は0.38とする。	
現場管理費	$\text{道路維持} \% \times \text{補正係数 } 0.67 = \text{現場管理費率} \%$	
	$\text{現場管理費} = (\text{直接業務費} + \text{共通仮設費}) \times \text{現場管理費率}$	円
	経費率は、R04土木工事積算基準(国交省)による。 現場管理費は24項目中16項目摘要のため、補正係数は0.67とする。	
一般管理費等	$\text{道路維持} \%$	
	$\text{一般管理費} = \text{業務原価} \times \text{一般管理費率}$	円
	経費率は、R04土木工事積算基準(国交省)による。	

(委託設計書 様式5)